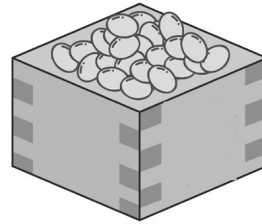


農業



令和5年2月号
会誌 No. 1700

目次

巻頭言

農でくらしをたて、医で命を守る—中村哲医師と PMS— ……三輪睿太郎 3

論壇

成長戦略としての「みどりの食料システム戦略」 ……白谷 栄作 4

地域セミナー 秋田

女性農業者が拓く地域農業の可能性 ……青山 浩子 6
質疑応答 …… 17

表彰農家訪問

電照ギクの周年安定生産経営モデルを構築 ……腰岡 政二 19
—中園英治さんを福岡県八女市に訪ねて—

食を楽しむ

ウクライナの人々とコーヒー事情 ……井谷 善恵 27

研究の最前線

農家圃場における栽培試験のデータ解析手法の開発 ……田中 貴 28
と生産コスト低減の可能性

農業・農村の現場から

農業人材の育成に向けて ……鈴木 滋彦 37
—プロフェッショナル・ユニバーシティの開学と取り組み—

世界の農業は今

フランス農業が目指すアグロエコロジー……………石井 圭一 43

私の経営と志

富山市の自立支援施設で稲作に取り組む……………小室 哲平 49
—農業の教育的価値—

農家の気持ち

「主婦農家」のリアル……………近藤 由佳 51

東京農業大学収穫祭から (第1回)

2030年—地球と私たちの三つの約束—
……………国際農業開発学科熱帯作物学研究室 52

農業関係予算情報

予算から見る主要な農林水産政策……………大日本農会企画部 56

農政情報

…………… 59
大日本農会だより…………… 60

編集部から…………… 60

会誌「農業」に関するアンケート

表紙写真説明

岩出山凍り豆腐 (宮城県大崎市岩出山地域)

大崎地域 (大崎市, 色麻町, 加美町, 涌谷町, 美里町) は, 冷害や洪水, 濁水が頻発する厳しい自然条件の中, 水を巧みに管理するさまざまな知恵や工夫, 苦労を重ねながら, 豊穰の大地「大崎耕土」を継承してきました。その結果, 2017年に「持続可能な水田農業を支える『大崎耕土』の伝統的水管理システム」として世界農業遺産に認定されました。

その大崎耕土が育んだ食文化の一つとして, 大崎市岩出山地域の「岩出山凍り豆腐」があります。岩出山凍り豆腐は江戸時代後期から生産され, 一般的な高野豆腐などと異なり, 凍結, 低温熟成, 解凍, 乾燥による作り方が主流な中, 解凍後にもう一度凍らせるのが特徴で, GI (地理的表示) 登録もされています。また, 材料は地場のブランド大豆「ミヤギシロメ」とにがりのみで, 独自の工法も相まって, 弾力に富んだ硬めの歯触りと滑らかな舌触りをもたらします。

寒さが本格化する11月に作業が始まり, 干し場には乾燥のためにイグサで結ばれた「豆腐のカーテン」が寒風を含んで静かに揺れます。乾燥中は, 天候にも左右されるため, 日々空の様子をうかがいながら3月まで作業が続きます。

(写真および文: 大崎地域世界農業遺産推進協議会事務局 太田 雅俊)